ZENKYO広島

2026年 11月 25日　第621号
〒732-0052 広島市東区光町2-9-24 広島ロードビル403
TEL(082)264-7850　FAX(082)261-1912
全広島教職員組合(全教広島)情報宣伝部
(毎月10or25日発行)　購読料20円(組合員は組合費に含む)

教育のつどいヒロシマ2026

すべての子ども達に学ぶ喜びと希望育む学校を

問題別・教科別分科会、記念講演に　延べ200名を超える参加

11月14日、広島市・広瀬小学校で「教育のつどいヒロシマ2026」が開催されました。午前中の問題別分科会に57名、午後の教科別分科会に82名が参加。登録され、報告されたレポートは65本。学校や子どもたちの姿や困難な中での実践の工夫や苦労などを大いに交流し、学びあいました。会場を提供していただいた広瀬小学校には、大変お世話なりました。

また、夕方から広島ロードビルで開催された全体会・記念講演には、会場56名、オンライン17名の参加があり、一日を通しての延べ参加人数は200名を超えました。

当事者のviewへの共感的理解を

記念講演は、北九州市立大学名誉教授の楠 凡之さんに、「すべての子に学ぶ喜びを～子どもたちの多様性を活かした学びを築いていくために～」とのテーマでお話しいただきました。

楠さんは、まず、自身の大学での講義や、学校現場からの具体的な事例を紹介しながら、多様な当事者のview(見え方、光景)への共感的理解の重要性を説かれました。そして、政府・文科省の「道徳観」が様々な点で多様性を排除していることを指摘。その上で、どうしたら多様性を活かした教育実践が可能となるか、家族、民族、発達障害、スローラーナーなどの課題をどうとらえて実践につなげるかについて、これも具体的な事例を挙げながら述べられました。



楠 凡之さん

参加者の感想より

■ここ何年か児童理解に悩むことが多く、表面に現れる問題行動の対応に追われたり、困惑したり。できるだけ無難に日々が送れるようにと事前の予防策を考える毎日でした。今日の記念講演からまずは自分自身、当事者のviewを考えたり理解したりできるようになりたいと思いました。忙しい毎日の中で、何の疑問も思わず感じずという自分を反省しました。

■スローラーナーの生徒がどれほど多くいるか…。不登校や別室登校、中3、残り約4か月・・かけ算もローマ字も怪しい生徒と何ができるかなと考えました。また、そんな子どもたちを放置している学校や大人、日本の責任は大きいなとも思いました。


講演に聞き入る参加者

あらくさ

娘が結婚します。

そんなことが本当に起こるんだな、と少し不思議な気持ちで今日を迎えています。

27年前に生まれた娘は、すくすくと成長し、大切な人と出会い、結婚という新たな人生の一歩を踏み出します。その姿を見ることができることを、親として本当に幸せに感じています。

以前、仕事に追われていた私に娘が「そんなに頑張らなくてもいいよ」と声をかけてくれたことがありました。親が子どもを心配するだけでなく、子どもも親を気遣ってくれるのだと感じた出来事でした。

教員の仕事は大変なこともありますが、多くの方々に支えられながら続けてくることができました。組合で出会った温かい仲間とのつながりにも感謝しています。

娘の門出を喜ぶとともに、これからも支え合う気持ちを大切にしながら、残された教員生活を、組合員の仲間とともに最後まで精いっぱい務めていきたいと思います。

(O)

問題別・教科別分科会　悩みや工夫出し合う

分科会の様子と感想

生活指導と自治的活動・主権者教育

レポーターをさせていただき、話している中で、「次はこんな実践がしたい！」というアイデアが生まれました。自分の言葉で語る時間が少なかったのだなーと思いました。子どものことを本気で語れる場なので、ぜひ学習会を続けたいと思います。他の学校、異年齢の先生方の話を聞けて、とても参考になりました。


生活指導と自治的活動・主権者教育

発達・学力・教育課程

新学習指導要領の動向とＡＩやタブレットなどデジタルへの動向が、企業のもうけ主義に絡めとられたり、教師、学校、児童・生徒の個人データがすべてすくい取られたり、人間が（社会が）デジタルデータに操られていきそうな不安・危機感を感じた。


子どもの権利と平和・環境・ジェンダー平等

思春期・青年期の進路と教育

とても具体的で深い議論ができた。高校再編が、強引に進められる中、公立高校がどう大切にされていかなければならないかを話し合うことができた。Ｍ先生の加計高校芸北分校の魅力についても分析することができた。

国語（小中合同）


教育条件確立と学校づくり

３人の先生の発表だったが、どれも素晴らしい発表でした。「作文嫌いは減らしたい」取り組みに共感しました。「帰国入国学習研究」の実態は大変ですが、これからも増えていく実態と聞いて、そうなんだ、こんな取り組みがとても大切なのだなと思いました。昨年に続き、小中合同での会であったがそれはそれで、とてもよかった！

算数・数学

Ｈ先生のレポート持っての参加がとてもうれしかった。かけ算指導は悩みが多いし、根本的に新しい指導が求められていると感じています。この多忙な中にあって、新しい授業づくりに邁進し、子どもたちの学びを真正面から育てていっている姿に敬意を表します。Ｎ先生の折り紙は、サイコーに楽しかったです。作ってみたかったカラサイドサイクル２。12個のパーツをつくりながら、「角の二等分、辺の二等分、座布団折りで面積の二等分…」と、唱えながらおりました。これは凄い。折りながら算数用語が身体に浸透していきます。

技術・家庭


体育・保健

Ｋ先生のご参加があり、ベテランの先生のお話が聞けて良かったです。うまくいっている成功例として聞くのではなく、悩みやもどかしさをこの場で出してくださいました。午前中の分科会もそうですが、このようなことも話せるという側面も知っていただくこともよいと思いました。

学校事務


図工・美術

貴重な意見をたくさん聞くことができました。立場のちがうところからの視点も理解するべき内容がたくさんありました。子どもたちが楽しく、きちんと学習できるように仕事をしているはずなのですが…。担任によって、差があるように思います。せめて、自分は、平等に対応できればと思います。

障害児教育・障害者問題


音楽

福山から参加の青年がまっすぐで、こんな若者がいるのだって、うれしくなりました。Ｋ小から参加してくれた彼女、よく来てくれました。よくレポート書いてきました。Ｍさんの話してくれた苦しい初年度体験を支えに潰されず頑張ってほしいと願うばかりです。

軍事費削って、くらしと福祉・教育の充実を
自治体キャラバン　市町に要請

11月16日からの1週間を中心に、「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会による自治体キャラバンが実施されました。

この実行委員会は、県内の労働組合や民主団体などで構成しており、春と秋にそれぞれの団体がもつ切実な課題を県内各市町の市長、議会に共同で訴えるとりくみです。今年も、教育、公共交通、医療・介護、被災者支援、中小企業振興、そして平和の問題についての要請・陳情をもって県内23市町を手分けをして回りました。全教広島からは、胡谷副委員長（江田島市、呉市）、中本書記長（北広島町、安芸太田町、大竹市）、武本海田支部長（海田町、坂町）、北川福山支部書記長（福山市、府中市、神石高原町）が参加しました。


福山市議会での行動

教育問題は、今回は7月の熊本地震の際に避難所に指定されている学校の体育館にエアコンが無く、使用できなかったことが大きく報道されたこともあり、体育館への早急なエアコンの設置を求めました。国の補助もあり、いくつかの自治体が計画を立てはじめましたが、計画の前倒しも要請しました。


安芸太田町での行動（写真右：中本書記長）

安芸太田町は、小中学校が太田川流域の災害危険区域にあり、体育館が避難所に指定されません。そのため、エアコン設置の補助も受けられません。町の教育委員会担当者は、「本来は子どもの学習保障のためのエアコン設置。国の補助がなく、町の予算だけでは難しい」と悔しさをにじませました。

中山間地の小規模自治体であればあるほど、医療・介護職員の人員不足の慢性化、商売が成り立たない、学校の更なる統廃合など、問題が山積していることが職員の方々の発言から実感されました。

国が軍事費を増大させていることにも触れると、うなずきながら聞かれる方も多くいました。さらに、「軍事費を削り、市民生活に回せ」の思いを強くする行動となりました。

子どもたちに、非暴力な社会を手渡すために
全国教職員学習交流集会in宮城


寒波のためオンラインでの講演となった清末さん

11月21・22日に仙台で教組共闘連絡会などが主催する全国教職員学習交流集会が開催されました。

記念講演は室蘭工業大学の憲法学者、清末愛砂さんによる「子どもたちに、非暴力な社会を手渡すために～日本国憲法を守り生かして～」でした。講演時間の多くを憲法前文の理解に費やしつつ、自身の研究テーマである、両性の平等を謳った憲法24条の重要性を説き、暴力や権力を利用して相手を支配しようとする点で、DVなど軍事力増強への欲求との共通点を指摘。前文と9条、24条を3辺とするトライアングル平和憲法論を主張されました。

初日の夜から次の日の午前にかけて4つの分科会に分かれて学習・交流が行われました。中本書記長が教組共闘中国ブロック幹事として、「教職員の生活と権利・すべての教職員の処遇改善」分科会に参加しました。

「キットeことあるよ♡キャンペーン」Part2
2026年10月～2027年1月限定！
共済紹介者に
キットカット 30コプレゼント！
＜個包装＞
さらに!!
期間中の加入者・紹介者20名の方に
プリンスホテル
豪華ランチツアーご招待
2027年
2月20日(土)



教育全国署名
県議会提出は12/15

非核三原則堅持せよ！　「継戦能力」ではなく平和外交を！

広島の声を政府に伝える緊急交渉

11月26日、衆議院第一議員会館において、広島県被団協、広島県原水協、新婦人広島県本部、広島県労連は連名で、高市首相に対して「日本政府は核兵器禁止条約第1回再検討会議に参加し、非核三原則を厳守し、憲法9条生かした平和外交を求める要請書」を提出し、約40分にわたって緊急交渉を行いました。神部副委員長が県労連議長として現地参加し、要請書を担当者に手交しました。政府からは、外務省、防衛省の担当者らが出席しました。



要請書を担当者に手交する神部議長（写真中央）

この要請行動はオンラインで広島ロードビルをはじめとした各会場に中継され、57名が見守りました。中本書記長も参加しました。また、広島ロードビルから佐久間被団協代表ら3名、長崎の新婦人の方の発言もありました。



広島ロードビル会場（発言は佐久間氏）

政府担当者とのやり取りの中で、神部議長は「非核三原則を国是として守り抜くと明言せよ」と迫りましたが、外務省担当者は「非核三原則は堅持している。今後についての予断は差し控える」と繰り返し、参加者の怒りを買いました。今後、いっそうヒロシマからの声を上げることが重要です。

要請項目

1. 「持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則を国是として、厳格に堅持すること。
2. 原子力潜水艦についての「導入」や「検討」を明記しないこと。
3. 日本政府として、憲法9条を生かし非核三原則を堅持した平和外交をすすめること。
4. 核兵器禁止条約に署名・批准すること。当面、11月末から開催される「核兵器禁止条約第1回再検討会議」へ日本政府としてオブザーバー参加すること。
5. 軍事（防衛）予算の大幅増額をやめ、物価高騰対策、教育負担の軽減、医療・福祉・介護政策の推進、防災など、暮らしを支える予算措置を優先すること。

この冬は2つの学習会に同僚誘って参加を！

平和学習ツアー

全教広島青年部 兵庫教組 共催







12/19 土 13:00-16:00

集合場所　レストハウス3階多目的室
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1－1

日程
- 12：30　受付開始
- 13：00　平和学習実践交流会（広島から2名、兵庫から1名発表予定）
- 14：30　平和公園内フィールドワーク（ガイドは被団協の方が行います）
- 16：00　資料館前 終了予定
- 18：00　交流会（希望者）

問い合わせ先
電話：082-264-7850
メール：t.teramoto727@gmail.com

申し込み方法
①QRコード
②左記の電話orメール

第26回 障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会 in 山口

（旧 全国障害児学級＆学校学習交流集会）

今年度の集会テーマ

学んで、語って、つながれたら幸せます！
～子どもから出発する学校をつくるために～

期日	2027年1月9日（土）～10日（日）
場所	1月　9日（土）全体会　KDDI維新ホール 全体交流会　山口グランドホテル 1月10日（日）KDDI維新ホール 山口グランドホテル
開催方法	会場での直接参加 （10日午後のみ一部オンライン併用）
参加費	2日参加：3000円　1日参加：2000円 オンライン参加者：1000円 保護者・学生：500円（1日・両日いずれも） 全体交流会：8000円

		12：00～	13：00～16：40	17：30～
9日（土）		受付	全体会	全体交流会
	9：30～11：30		12：30～16：30	
10日（日）	てんこ盛り講座 文化バザール 特設企画		旬の実践分科会 基礎講座（15：00まで）	

詳細は全教広島HPへ⇓